

「明石藩と尼崎藩」



2019年3月に一般公開が始まった尼崎城天守。江戸時代の天守櫓をモデルに再建されました。館内は尼崎城下町を学べるミュージアムとなっています。

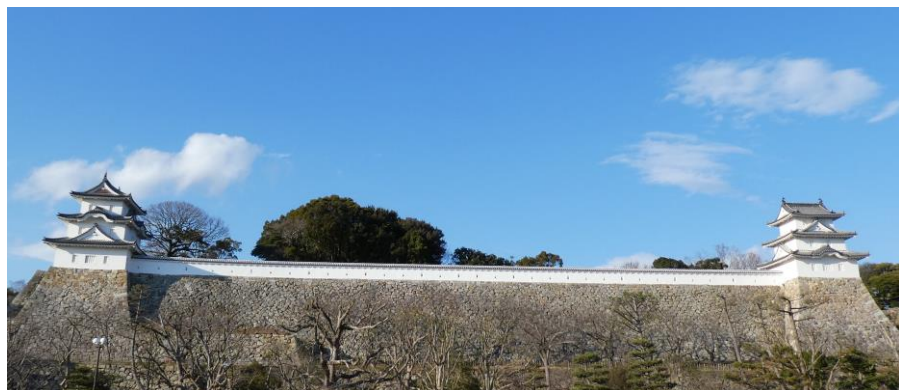
日時 令和元年 **7月8日** (月)
午後2時～3時半
(受付：午後1時より)

場所 新長田勤労市民センター 別館
ピフレ 会議室 A
(ピフレ新長田3階・JR・地下鉄新長田駅南すぐ)

受講料 **500円**
(先着70名)

受講お申込み

※6月8日(土)午前10時より
来館または電話にて先着順



明石城は1619年に、初代藩主の小笠原忠真によって築かれました。現在も残っている巽櫓と坤櫓は、国の重要文化財に指定されています。

江戸時代初期、神戸市の西部は明石藩領で、須磨から東灘まで六甲山南麓の大半は尼崎藩領でした。2019年、尼崎では平成最後の築城が完成し、明石では築城400周年のメモリアルイヤーを迎え、城下の歴史に改めて注目が集まっています。明石藩・尼崎藩の歴史から江戸時代の神戸市域を再見しましょう。



講師 谷口 義子
(神戸学院大学非常勤講師)

新長田勤労市民センター「まちかどの神戸史」講座講師。
神戸学院大学・神戸親和女子大学非常勤講師。
著書：「灘の歴史」(主筆)『宝塚まちかど学』(主筆)
他多数。NHK神戸放送局「新兵庫史を歩く」(リサーチャー)、NHK総合「プラタモリ#64 神戸の港」出演。

～お問い合わせ・受講申込～

(公財) 神戸いきいき勤労財団 神戸市立新長田勤労市民センター (新長田駅前ビル 3階)
〒653-0038 神戸市長田区若松町5丁目5-1 (JR・地下鉄新長田駅西すぐ)

☎078-643-2431 FAX078-643-4350

【受付時間】午前9時～午後8時 (日・祝は午後4時まで) 第3木曜日 休館